

「ぼくは、げんきな一年生」

学校法人神村学園初等部一年

おちあい
落合 琉惺

ぼくは四月から一年生になりました。ぼく
ごはんのまえは、じぶんでちゅうしゃもする
はげんきな一年生です。みんなといっしょに
んだよ。」

おべんきようするのが大すきです。体いくも
とはなすと、みんなが
水えいもします。ずこうのじかんにえをかく
「すごいねえ。」

のもすきです。休みじかんには、おともだち
といっけてくれました。もやもや、どきどきし
とおにごっこをします。
ていたぼくのころはうれしくて、すっきり

でも、ぼくはみんなとちよつとちがうとこ
なりました。みんながぼくのこと、ぼくのび
ろがあります。それはぼくが「とうにようび
ようきのことをわかってくれたからです。」

よう」というびようきだからです。ごはんの
先生がうでにつけているきかいで「ピピ
まえにはちゅうしゃをします。おなががすい
ッ。」とぼくのげんきパワーをはかりにきて
てきたら、ぶどうとうをのんだり、おかしを
も、みんなはなんにもいいません。ぶどうと
たべたり、しなければいけません。
うやおかしをたべていても、

ようちえんときは、先生のおへやでおや
「いいなあ。」
つをこつそりたべていました。おともだちが
とか、

「りゅうせいくんだけ、ずるいなあ。」とか、
「りゅうせいくんだけ、ずるい。」
「わたしもたべたい。」とおもったら、いけ
なんていう人はいません。

ないからです。もしこれがぎやくで、おとも
ぼくは、もうこつそりしなくてもいいんです。
だちだけ、おやつをたべていたら、ぼくだつ
それどころか、きゅうしよくじかんには、
て「うらやましい。」とおもうでしょう。だ
「りゅうせいくん、ちゅうしゃ、わすれない
から、こつそり、さつさとたべていました。
で。」

一年生になって、先生がクラスのおともだ
と、こえをかけてくれます。ぼくは「ありが
ちに、ぼくのびようきのことをはなしてくれ
とう。」という気もちになります。

ました。うでにつけているきかいで、げん気
ぼくはびよう気です。でも、まい日、おと
パワーがのこっているかはかることやパワー
もだちといっしょに、たくさんあそんで、べ
がないときは、おやつをたべなければならな
んきようします。まい日、とつてもたのしい
いこともはなしをしてくれました。先生は、
です。

「えん足のおやつみたいに、すきなものをた
ぼくは、こころも体もげんきな一年生です。
のしくたべるんじゃないで、たべたくなくて
も、がんばってたべなくちゃいけないんだ。